



Overseas Fishery Cooperation Foundation of Japan

評価報告書

ソロモン諸島

— 2020年度 地域巡回機能回復等推進事業 —
(終了時評価 2021年4月)

事業概要

国名	ソロモン諸島
プロジェクト名	2020年度 FDAPIN VII プロジェクト (地域巡回機能回復等推進事業)
実施期間	2020年8月5日(覚書署名)～2021年3月31日
相手国政府覚書署名省 庁名及び実施機関	覚書署名省庁：漁業海洋資源省 (MFMR : Ministry of Fisheries and Marine Resources) 実施機関：漁業海洋資源省

プロジェクト実施の経緯と背景

ソロモン諸島(以下「ソロモン」という。)政府漁業海洋資源省(以下「MFMR」という。)は、Corporate Plan 2020-2023を編集中であり、製本が完了していない。しかし、「2014-2018年実施計画書(MFMR Corporate Plan 2014-2018)」において、「地方の漁業センターの適切且つ持続的な利用を支援する為の戦略を研究・準備して実行する」と定めている。

このような計画の下、MFMRは各種の漁業振興計画を実施しているが、同国の水産関連施設は老朽化に伴う故障や運営管理の不備により、本来の機能を発揮することができず、漁業振興計画の推進に大きな支障を来している。

このため、ソロモン政府は、公益財団法人海外漁業協力財団(以下「財団」という。)に対し、水産関連施設等の修理・修復及び現地技術者への技術移転並びに関連組織への指導・助言につ



いての要請を行った。

財団は、我が国とソロモンとの漁業関係の重要性を踏まえ、同国政府の漁業振興策を支援するため、本プロジェクトを実施する方針を決定した。

目標・成果・活動内容等

上位目標	修理・修復対象施設周辺地域の漁業生産性が向上し、小規模漁業が発展する。
プロジェクト目標	水産関連施設が修理・修復され、当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。
成果	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響による渡航規制により専門家を派遣することができなかったことから、マニュアル等の教材を作成・送付し、電話やメール等のツールを併用して遠隔指導を実施した。</p> <p>① アフィオ漁業センターの修理・修復及び技術指導</p> <p>経年劣化と故障により換装が必要とされていたブロック型製氷機及び発電機について、カウンターパートは専門家による技術指導内容を理解し、カウンターパートのみによる設置を完了させることができた。同センターの製氷機能が回復し、維持・管理に係るカウンターパートの技術が向上した。</p> <p>② 漁業海洋資源省（MFMR）エンジニアリング部門への工具の提供</p> <p>ワークショップに整備されていた機材のうち、経年劣化や故障で使用できなかった溶接機・電動工具類を供与するとともに、使用方法に関するマニュアル等の教材を作成・送付し、電話やメール等のツールを併用して遠隔指導を実施した。ワークショップの機能が回復するとともに、カウンターパートは専門家による技術指導内容を理解し、電動工具等の適切な使用法に係る技術が向上した。</p>
活動	<p>① アフィオ漁業センターの修理・修復及び技術指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ブロック型製氷機と発電機の交換・設置と配線及び試運転 ・ 上記の作業に必要な技術的指導 <p>② 漁業海洋資源省（MFMR）エンジニアリング部門への工具の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 修理用機械の提供、現場への設置および使用法の説明 ・ 上記作業に必要な技術的指導
投入	<p>財団側</p> <p>1) 専門家 計画 巡回指導：チームリーダー／冷凍機器、漁船機関専門家 冷凍機器専門家 2021年2月下旬～3月中旬（約28日間）</p>

	<p>実績</p> <p>第1回巡回指導：チームリーダー／冷凍機器、漁船機関専門家 2020年9月2日～12月28日（118日）</p> <p>第2回巡回指導：チームリーダー／冷凍機器・漁船機関専門家 2021年1月12日～3月31日（79日）</p> <p>延日数</p> <p>計画 56人日</p> <p>実績 197人日（計画対比：352%）</p> <p>（注：延日数の実績には、本邦でのマニュアル作成やチーム内でのオンライン打合せ、カウンターパートとの連絡等に費やされた日数が含まれる。また、専門家がソロモンを含む延べ3か国を対象とした遠隔での技術指導等を併行して行った期間となっている。）</p> <p>2) 主な資機材 ブロック型製氷機（24缶）、発電機（20KVA）、エアーコンプレッサー、アーク溶接機、バッテリー充電器、電動工具等</p> <p>3) 事業費</p> <p>予算額 19,131千円</p> <p>実績額 19,201千円（予算対比：100%）</p> <p>相手国側</p> <p>1) 主なカウンターパート</p> <p>アフィオ漁業センターの修理・修復及び技術指導</p> <p>Principal Fisheries Officer, MFMR</p> <p>Fisheries Officer Refrigeration, MFMR</p> <p>漁業海洋資源省（MFMR）エンジニアリング部門への工具の提供</p> <p>Principal Fisheries Officer, MFMR</p> <p>2) プロジェクト関連予算、土地、施設等</p> <p>MFMR 事務室、電気・水道の無償使用、船外機付きボートの使用等</p>
--	---

評価事項

特記事項：新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、専門家を現地へ派遣できず、日本から新たに作成した資料を用いてリモートで技術指導を実施した。このため、技術指導に必要な資料の作成に時間を要し、また、資料には各国共通で使用する部分があるため、作成に要した時間は個々の国に振り分けることが出来ず、技術指導に要した期間は計画を大幅に超過した。

このような特殊事情に鑑み、「効率性」のうち、1. 事業費及び実施期間は評価しないこととする。

◆ 妥当性

1. 対象国政府の水産振興政策との整合性

本プロジェクトは、ソロモン政府が策定した「2014-2018 年実施計画書」等に基づく漁業振興策に合致した事業内容であり、妥当と判断される。(2020～2023 年度計画については編集集中であるが、2014-2018 年度実施計画書を踏襲した内容になっているとのことである。)

2. 協力ニーズ (対象国、対象地域) との整合性

ソロモン政府から、水産関連施設の修理・修復及び現地技術者への技術移転並びに関連組織への指導・助言を要請されており、事前調査においてアフィオ漁業センターの修理・修復及び技術指導並びに MFMR ワークショップの機能拡充に対する協力ニーズが高いことが確認されている。

3. 環境に対する配慮はなされていたか

本プロジェクトでは、直接環境に影響を与える活動はなく、冷媒、廃棄部品等の扱いについては、適切な回収装置を用いるなど、常に環境保全に配慮している。

4. 水産資源に対する配慮はなされていたか

本プロジェクトは、水産関連施設の機能回復を図り、その運営・管理に対する助言を行うものである。その結果、現地零細漁業者の漁業活動が活発になることが想定されるが、零細漁業の漁獲圧力は限定的であり、水産資源への負荷を著しく増大するものではない。

5. その他 (プロジェクト関連予算、土地、施設等受け入れ態勢は決められたとおりに実行されたか等)

特になし。

◆ 効率性

1. 事業費及び実施期間

上記、特記事項の理由により適切に評価することが困難である。

2. 資機材、施設、専門家はタイミングよく投入され、期待された機能、能力を発揮していたか

資機材及び専門家は、実施計画に従いタイミングよく投入され、プロジェクト活動は対象年度内にすべて完了し、それぞれ期待された機能及び能力を発揮した。

3. 移転技術はカウンターパートの習得水準に適合していたか

移転技術は、専門家が事前調査においてカウンターパートの技術水準を見極めた上で指導内容を検討しており、実施に当たっては適切な指導が行われたことから、カウンターパートの水準に適合していた。

4. 状況の変化、教訓・提言等に応じて実施計画、活動項目は、適宜見直されていたか

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による渡航制限により、技術指導はメール等の手段を用いて遠隔で対応した。

5. その他（プロジェクトの効率性に影響を与えたと考えられる貢献・阻害要因等）

新型コロナウイルス感染症の影響で専門家を現地へ派遣できなかったことから、効率性に大きな影響があった。

また、ソロモン政府財務省による通関料、資機材の国内輸送料等の支出が遅延したことから、プロジェクトの効率的な実施に影響があった。

◆ 有効性

1. プロジェクト目標の達成度

① プロジェクト目標の達成度

プロジェクト目標：水産関連施設が修理・修復され、当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。

計画どおり水産関連施設の機能が回復し、また、必要な技術移転が行われ、技術指導によりカウンターパートの知識及び技術レベルは益々向上したことからプロジェクトの目標は達成された。

② その他（プロジェクト目標の達成度と外部要因との関係等）

特になし。

2. プロジェクト活動項目及び期待された成果の達成度

① アフィオ漁業センターの修理・修復及び技術指導

期待された成果：アフィオ漁業センターの修理・修復及び当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。

ブロック型製氷機及び発電機の換装については、これら機器類のマニュアル及び電気配線並びに必要な資機材の写真・説明入りリストを用いて設置指導を行うとともに、写真撮影を含む作業・運転日誌の適正な記入を指導した。

これら一連の技術指導は電話やメールによるコミュニケーションを通じて実施された。この結果、カウンターパートは施設の維持管理に係る技術レベルを向上させることができ、施設の稼働が円滑になった。

② 漁業海洋資源省（MFMR）エンジニアリング部門への工具の提供

期待された成果：当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。

同部門は、ホニアラのワークショップを基地としてソロモン国内の漁業センターに技術支援を実施しており、そのために早期に必要なとされていたポータブル発電機、アーク溶接機、グラインダー、ハンドドリル、エアーコンプレッサーを供与することにより、同ワークショップの機能が向上した。

カウンターパートは、専門家が作成した写真入りリスト・マニュアル等を見ながら機器類を設置し、適正な保守管理を再確認することにより、技術レベルを向上させることができ、施設の稼働が円滑になった。

◆インパクト

1. プロジェクト上位目標の達成に対し、プロジェクト目標の達成の効果はどの程度見込まれるか

本プロジェクトの実施により、製氷施設の修理・修復に関する MFMR のカウンターパートの技術が向上したことから、プロジェクト目標は達成された。

今後、製氷施設が順調に稼働すれば、上位目標である修理・修復対象施設周辺地域の漁業生産の増加、小規模漁業の発展に一定の効果を及ぼすとともに、ソロモン政府が策定した「2014-2018年実施計画書」の流れを汲んでいると思料される現在の政府方針「市場や輸送手段及び施設等の改善」にも寄与する。

2. プロジェクトは相手国・対象地域の政策形成、社会・経済等でどのような直接的・間接的な効果または負の影響が見込まれるか

本プロジェクトの実施により、製氷施設が安定的に稼働し、周辺漁業者に氷が円滑に供給されるようになった。今後、製氷施設が順調に稼働すれば、魚価が上がり漁業者の所得が向上することから、対象地域の経済に対する直接的な効果の発現が見込まれる。氷は地域住民にも供給されることから、民生向上に寄与し、対象地域の社会・経済に対する直接的な効果の発現が見込まれる。

また、ホニアラのワークショップに対する支援は、ソロモン国内の各漁業センターへの技術支援に寄与し、均しく一般漁業者の漁業活動に裨益することとなる。

3. その他(ターゲットグループに対するインパクトや、プロジェクトの計画当初予見できなかった効果または負の影響が見込まれるか等)

特になし。

◆持続性

1. プロジェクト終了後もカウンターパート及び供与された資機材は有効に活用されるか

カウンターパートは MFMR の職員で、プロジェクト終了後も引き続き本施設の管理を担当する予定である。

供与された資機材は、製氷施設及びワークショップの稼働並びに運営・管理に必要なものであり、プロジェクトを通じてカウンターパートに適切に技術移転されたことから、プロジェクト終了後も有効に活用される。

2. プロジェクト終了後も効果は持続される見込みか

本プロジェクトにより、対象 2 施設の機能が強化され、継続的な活動を可能にする人的・物的環境が整備された。また、各漁業センターの機械に異常が発生した際には、MFMR のカウンターパートが州政府の予算で修理のために現地に出張し、修理できる体制があることから、本プロジェクト終了後も、この効果は持続的に発揮される見込みである。

3. その他（持続性に影響を与えると考えられる貢献・阻害要因等）

特になし。

以上